～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

工学部　機械設計システム工学科　2 年　（進藤崇志）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　　2017 年　8 月 15 日　　～　2017 年　9 月　18 日

〇渡航時の学年：　2 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

以前から留学に興味を持っていたのもあるが、様々な背景や価値観をもっている人と関わることで視野を広げいろんな経験を積んでいきたいと思ったから。

・渡航に関する手続について：

保険の手続き、航空券の支払い、必要書類(ホームステイ先の希望など)の記入

・査証取得：

なし

★体験記：派遣先の情報（渡航費用・生活費・寮の環境・大学の環境・授業内容・学生の様子・生活環境等）や派遣先で学んだことについて書いてください。

〇生活費：

ホームステイ代、授業料、航空券代をすべて合わせると 50 万円くらいだった。それに加えて外食代やツアー代やお土産代などで約 10 万円ほどかかった。

〇ホームステイ先の環境：

自分のホストファミリーは、子供が二人とも海外で働いており夫婦二人で暮らしている家庭だった。ホストファザーが元コックだったこともあり毎日ご飯はとてもおいしく、ホストマザーはとても優しくて、いろんなところに車で連れて行ってくれた。たまにホストファミリーの友達の家族が遊びに来ており賑やかでとても楽しかった。全体的にとても過ごしやすく何の不自由も感じなかった。

〇大学のサポート状況：

大学の方は親切でわからなかったことを聞きに行っても丁寧に対応してくれた。先生方も明るくて毎回とても楽しく授業を受けることができた。

〇授業の様子：

授業は少人数のクラスに分かれてやっていた。英語を話す機会が多いので大変だったが、いろんな国の人の意見を聞くことができてとても興味深かった。また、毎週金曜日にはほかのクラスの人とも合同で授業をした。授業は４時には終わるので、その後併設しているジムに行ったり、街に行っていろんな店に行った。

〇他の留学生たちの様子：
自分のクラスには日本以外にブラジル、サウジアラビア、中国から来ている人がいた。自分のクラス以外にもいろんな国の人がいた。また年齢も 10 代の人から 30 代の人まで幅広くいた。彼らの意識の高さや取り組みには学ぶべきところが多くあったし、実際にとても刺激を受けた。

〇現地学生との交流：
現地の大学生との交流は特になかったがランゲージセンターと併設しているジムに通っている現地の学生はとても多かった。

〇街の様子：
ダニーデンはとてもいい街だった。中心のストリートには映画館やショッピングモールやカフェなど、たくさんの店が建ち並んでいたし、夜はオタゴ湾をのぞんで見える夜景がとてもきれいだった。

〇その他：
週末はできるだけ外に出かけるようにしていた。ラグビーを見に行ったり、バスで片道 4 時間ほどかかるクイーンズタウンに行ったり、ホストマザーと一緒にマーケットや日本食レストランや博物館に行ったりもした。またたくさん英語を使うために晩ご飯のあとできるだけリビングにいてホストファミリーといろんな会話をたくさんした。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
今回の留学は、自分にとって自分の将来にとって、とても意味のある時間を過ごせたと思います。自分たちが通っていた学校にはいろんな人がいて、いろんな生き方があるということをとても感じました。海外には日本人にはないような感覚を持っている人がいたり、いろんな文化をもっている人がいたりしてとても興味深かったです。一ヶ月という短い期間で英語が上達したかどうかはわかりませんが自分の価値観や意識や考え方に少なからず影響を与えてくれたと思っています。